

## 「(仮称) せんだい支えあいのまち推進プラン」構成(案)

【全体構成案】(※タイトルは仮称。○は主な内容)

**第1章 計画策定の趣旨と位置付け**

- 計画策定の趣旨
- 計画の位置付けと本市関連計画との関係性
- 計画期間
- 市民参加による計画策定

**第2章 地域の福祉に関する現状と課題**

- 第3期地域保健福祉計画の振り返り
- 社会の状況
- 本市の現状
  - ・統計データ等
  - ・アンケート調査の結果
  - ・座談会の結果

次回の分科会でお示しする部分

**第3章 基本的な考え方**

- 目指すべき姿
- 「地域」の考え方
- 各主体に期待される役割
- 基本理念、基本目標
- 基本的方向

本日も議論いただきたい部分

**第4章 施策の展開**

- 基本的方向1 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進
- 基本的方向2 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化
- 基本的方向3 多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

**第5章 成年後見制度利用促進 ～高齢者や障害者の意思を尊重し、生活を支える**

- 背景、現状と課題
- 施策の方向

**第6章 再犯防止推進 ～立ち直ろうとする人を支える**

- 背景、現状と課題
- 施策の方向

**第7章 計画の推進**

- 計画を推進するための仕組み

次回の分科会でお示しする部分

### 第3章 基本的な考え方

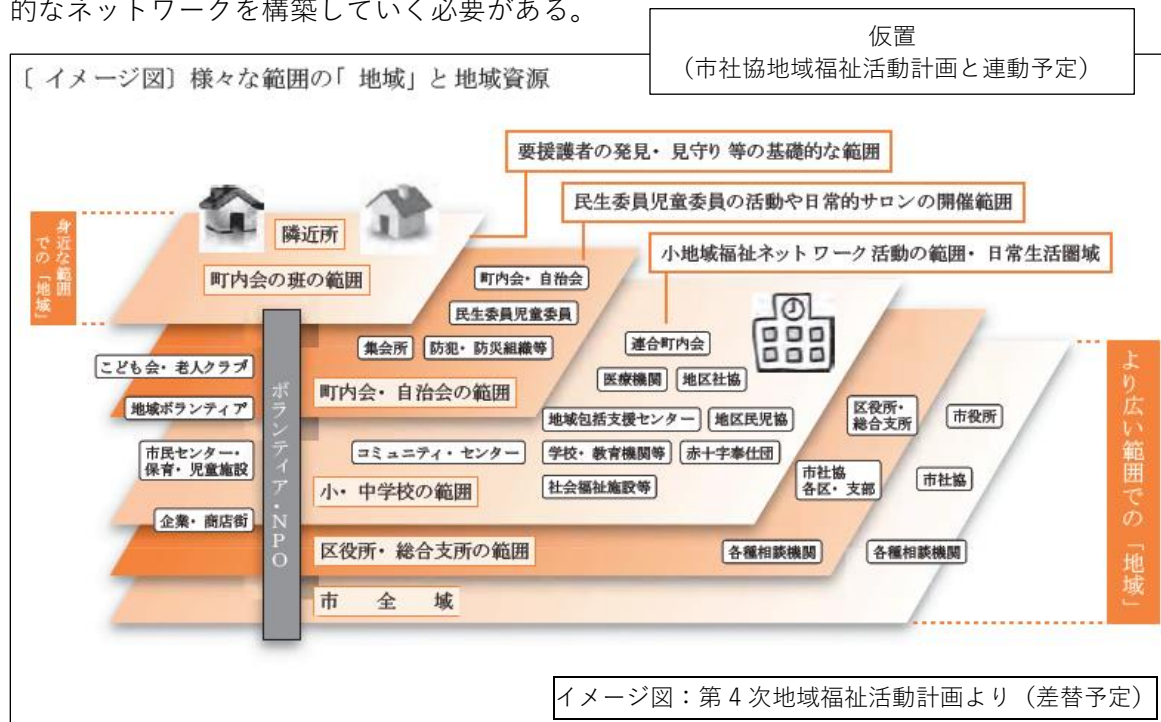
#### ○目指すべき姿

- ・ 私たちが暮らす地域では、子どもから高齢者まで様々な人々が日常生活を送っている。
- ・ 地域の中には、障害がある方や介護が必要な方、子育てに悩んでいる方、経済的に困窮している方、震災等で被災し心のケアや生活のための支援が必要な方、罪を犯してしまった方など、様々な事情により「生きづらさ」を抱えながら生活している方がいる。
- ・ こうした生きづらさは誰にとっても無関係なことではなく、自分や自分の身近でいつでも起こりうることである。私たちはこのことに気づき、自分事として意識する必要がある。
- ・ 自分や自分の大切な人たちが何らかの生きづらさを抱え、支えが必要になった時にも安心して地域で暮らしていくために、私たち一人ひとりが日頃から地域や社会に参加し、地域の課題を自分事として考え、解決に向けみんなで力を合わせていくことが必要である。
- ・ 地域や社会への参加をはじめ、自分自身や家族でできることは自分で取り組む、住民一人ひとりの「自助」の取り組み、地域住民がともに支えあい、助けあう「共助」の取り組み、地域だけでは解決できない課題を行政の公的なサービスで担う「公助」の取り組みが相互に連携・協働し、地域が一体となったネットワークを構築していくことが必要である。
- ・ 一人ひとりの住民をはじめ、地域におけるさまざまな担い手がそれぞれの役割を意識しながら一緒に地域づくりの取り組みを進めていくことで、本計画の基本理念や基本目標を実現していくことを目指していく。

## ○「地域」の考え方

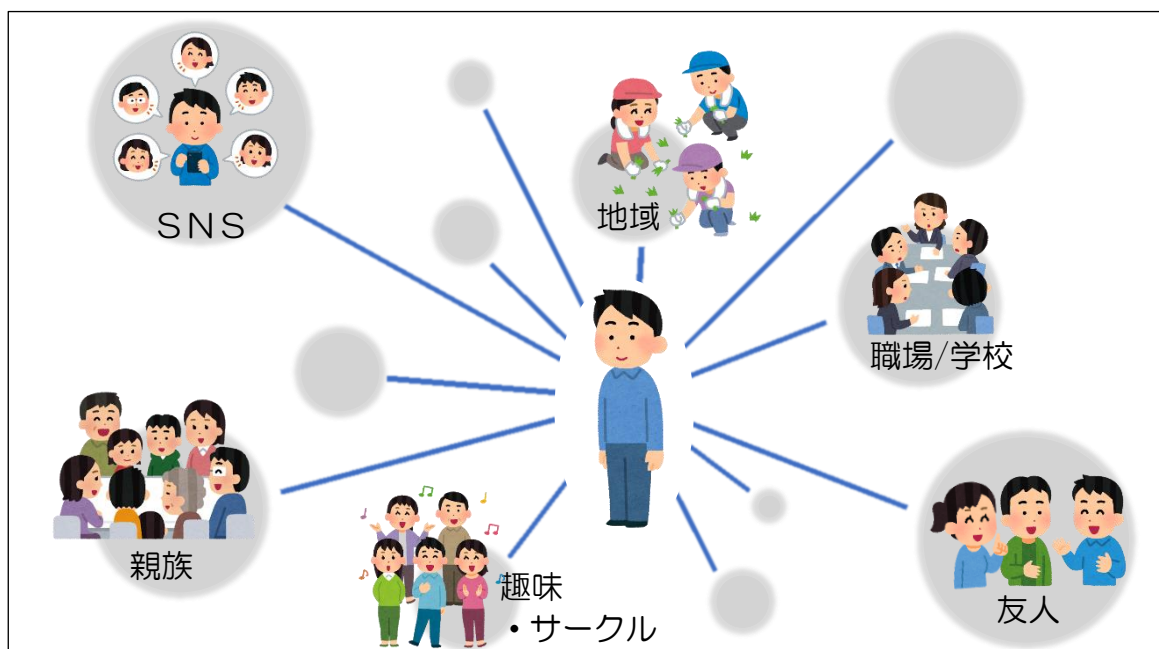
### <地域の圏域について>

- ・地域とは、活動の主体やサービスの内容などによって捉え方や範囲が異なる。地域福祉の推進にあたっては、次の図のように段階的に地域を捉え、各圏域単位で構成されるさまざまな活動主体がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携・協働していくとともに、圏域を超えた重層的なネットワークを構築していく必要がある。



### <一人ひとりの「暮らし」と「地域社会」との関係について>

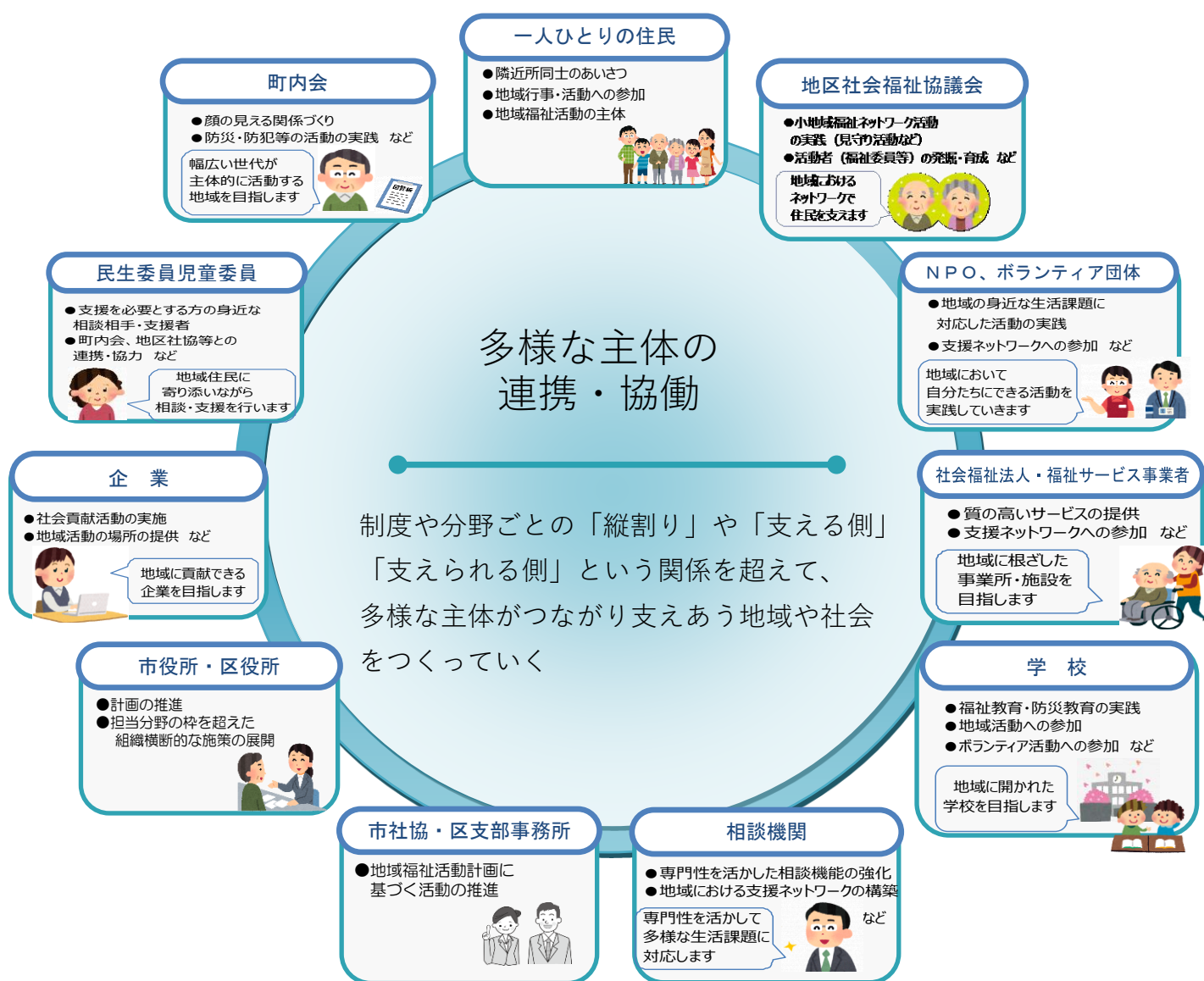
- ・個人や世帯を取り巻く環境の変化により、生きづらさが多様化・複雑化している。何らかの生きづらさを抱えていても、地域社会で安心して暮らしていけるよう、次の図のように、一人ひとりが身近なつながりや多様なつながりを結ぶことで、今日における地域社会とのつながり、居場所をつくっていくことが大切である。



○各主体に期待される役割

- ・一人ひとりの住民
- ・町内会
- ・民生委員児童委員
- ・地区社会福祉協議会
- ・NPO・ボランティア団体
- ・企業、社会福祉法人、福祉サービス事業者
- ・相談機関
- ・学校
- ・行政 等

仮置  
(市社協地域福祉活動計画と連動予定)



イメージ図：現計画より仮置

## ○基本理念、基本目標

- ・第1期（平成17～22年度）、第2期（平成24～27年度）、第3期（平成28～令和2年度）の  
仙台市地域保健福祉計画の基本理念

「誰もがそれぞれの地域で、自立し、安心して、自分らしい充実した生活を送ることができるまち」

→子どもから高齢の方まで、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが地域においてその人らしく  
自立し、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、地域に関わるさまざまな担い手が  
力を合わせ、ともに生き、支え合う社会を実現していくことを目指し掲げてきたもの。

- ・本計画においてはこれまでの考え方に加え、次の視点を意識して基本理念、基本目標を整理する。

➤ 「目指すべき姿」で整理した考え方

➤ 国の理念

**地域共生社会**（厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部資料）

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の  
多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』  
つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

**地域福祉の推進**（改正社会福祉法第4条第1項関係（令和2年6月公布））

地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する  
地域社会の実現を目指して行われなければならないこと

- 仙台市基本計画で掲げる目指す都市の姿のひとつ「多様性が社会を動かす共生のまちへ」
- 各福祉分野の共通事項を盛り込む（改正社会福祉法（平成29年6月公布））
- 市町村成年後見制度利用促進計画、地方再犯防止推進計画と一体的に策定



基本  
理念

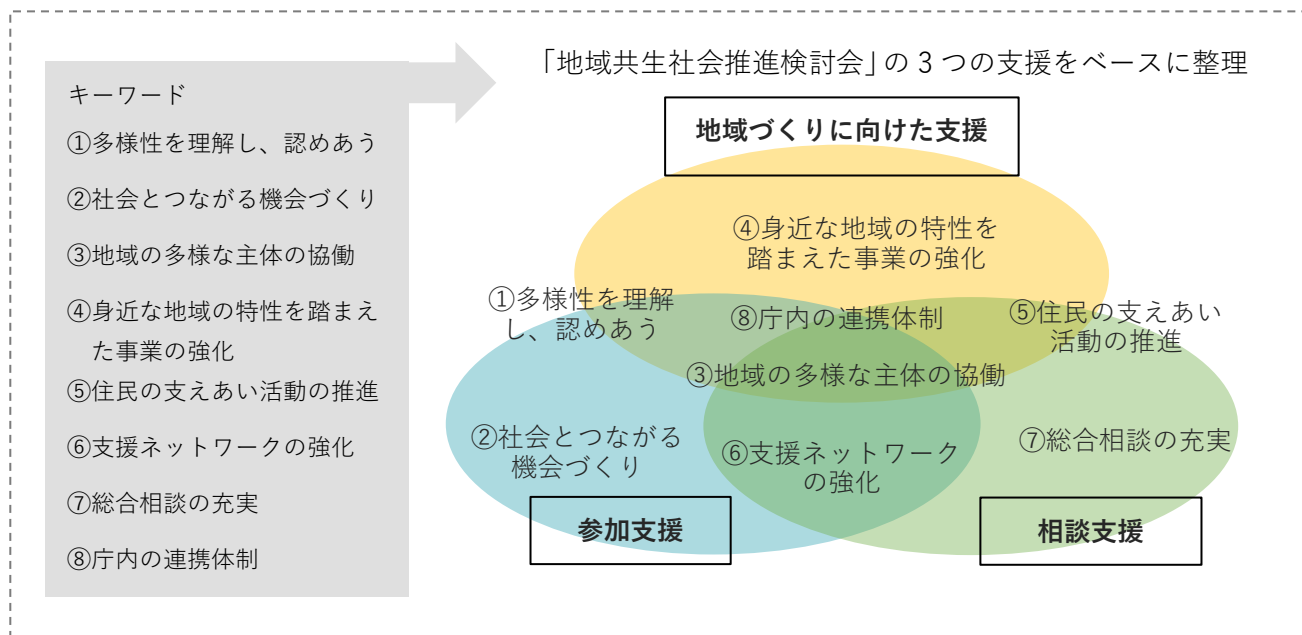
ともに生き、支えあうまち

基本  
目標

誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、  
自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる

## ○基本的方向

- ・ 多様な価値観を地域や社会が受けとめともに生きるために、つながりを新たに結び、また結び直すことも意識した施策を展開する必要がある。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止で、人との接触や外出が制限される中、改めて人とのつながりの大切さが認識され、人や地域のつながりを途切れさせない活動の工夫や、支援を必要とする人を孤立させないための新たな取り組みを進めることが求められている。
- ・ 生きづらさが多様化・複雑化する中、住民一人ひとりの支援ニーズに対応するため、仙台市における包括的な支援体制の整備（法第 106 条の 3 第 1 項関係）を推進する必要がある。



## 基本的方向

- 1 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進**
- 2 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化**
- 3 多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進**



< 計画の体系 >

基本理念

ともに生き、支えあうまち

基本目標

誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、  
自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる

基本的方向

1  
多様性を認めあ  
い、社会とつな  
がる環境づくり  
の推進

2  
地域の課題に気づ  
き、解決を図る  
地域力の強化

3  
多機関の協働によ  
る、相談を受けと  
め寄り添い続ける  
支援の推進

施策の方向

共生の意識を高める取り組みの推進

ニーズに合った多様な居場所づくり

就労や住まいの確保の支援の推進

誰もが暮らしやすい生活環境の整備

地域福祉活動への参加と人材育成の  
促進

地域の様々な主体による活動の充実・  
強化

多様な主体のつながりによる  
地域づくりの推進

災害に備える地域づくり

日頃の見守り活動の促進

身近な相談機能の充実

複合的な課題にチームで対応するた  
めの仕組みづくり

多様化するニーズに対応する  
福祉サービスの充実

## 基本的方向 1

## 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進



### <考え方>

- ・誰もが安心して暮らしていける地域を目指すため、多様な背景や価値観のある方々が地域で暮らしていることをみんなが理解する機会や場づくりを進め、お互いを認めあう社会の土壌づくりを推進していくことが必要。
- ・何らかの事情により地域や社会とのつながりが弱まってしまった方々がつながりを結び直す、または新たなつながりをつくっていけるような環境づくりを進めていくことが必要。
- ・誰にとっても暮らしやすい生活環境つくっていくことが必要。

### <施策の方向>

#### ▽共生の意識を高める取り組みの推進

##### ■現状や課題

- ・地域や人との関わりへの意識や交流の重要性についての市民意識の低下。
- ・障害や認知症などが自分に身近なことで知る機会が必要。
- ・多世代交流の機会や当事者の参加など、伝え方、つながり方を工夫し、正しい理解を進めることが大切。

##### ■方向性

- ・一人ひとりを尊重し、社会と関わりながら生きていく意識を育む取り組みを推進する。
- (主な取り組み)

※今後具体的な事業を掲載し、重点事業の検討を行う。以下同。

#### ▽ニーズに合った多様な居場所づくり

##### ■現状や課題

- ・支える側と支えられる側を固定することなく、誰もが何らかの役割が持てる場所が必要。
- ・開放的なスペースなど、入りやすい雰囲気づくりが必要。
- ・公共施設に加え、法人の地域交流スペースやコンビニ、空き家など、地域資源の有効活用に向けた取り組みが必要。

##### ■方向性

- ・本人や世帯の状態やニーズに応じた、多様な形の居場所づくりを推進。
- (主な取り組み)



## ▽就労や住まいの確保の支援の推進

### ■現状や課題

- ・高齢化や核家族化の進展による一人暮らし高齢者の増加等により、住まいの支援の必要性が高まっている。
- ・制度の狭間への対応が必要。

### ■方向性

- ・様々な事情で就労や住まいの確保に課題を抱える方に対する、多様な分野の取り組みと連携した支援の充実  
(主な取り組み)

## ▽誰もが暮らしやすい生活環境の整備

### ■現状や課題

- ・障害等により情報が届きにくい方がいる。
- ・IT化への対応が難しい方たちがいることを考慮する必要がある。
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインの推進を進める必要がある。

### ■方向性

- ・施設や交通環境の整備の推進と情報アクセシビリティの向上  
(主な取り組み)



### <考え方>

- ・地域ごとにその成り立ちや住民層、資源、課題などが異なっているため、それぞれの地域に住む住民自身が地域課題に気づき、解決を図るための取り組みを進める必要がある。
- ・地域課題を解決するためには、特定の担い手に頼るのではなく、だれもが当事者として参画し、課題にあたる必要がある。
- ・地域のお宝を活かしながら、多様な地域の担い手が連携・協働することで、安心して暮らしていくことのできる地域をともにつくっていくことが必要。

### <施策の方向>

#### ▽地域福祉活動への参加と人材育成の促進

##### ■現状や課題

- ・地域活動者の高齢化や担い手不足が進んでいるため、新たな担い手の育成、若い世代の参加を進める必要がある。参加しやすい環境整備や仕組みづくりが必要。
- ・共働き家庭の増加や定年延長などで地域との関わりが少ない人が増加することなどにより、元気な若い人が高齢者を支えるという考え方が限界にきている。元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支えていくという考え方也需要。
- ・将来の担い手候補とのつながりを持ち、必要な時にお願いできる土台を作ることが必要。
- ・養成した担い手の活躍の場が必要。

##### ■方向性

- ・地域福祉活動に関する広報の充実
- ・各種研修や養成講座による担い手の育成  
(主な取り組み)

#### ▽地域の様々な主体による活動の充実・強化

##### ■現状や課題

- ・役員、活動者の高齢化や担い手不足により、組織の運営や活動の継続が難しくなっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで地域において進められてきた対面による住民同士の交流や見守り活動が難しくなったり、差別や偏見により心の距離が生じるなど、地域のつながりに大きな影響が出ている。
- ・好事例の共有による支えあい活動の機運を高めることが必要。

##### ■方向性

- ・地域の様々な団体等による多様な支え合い活動の活性化を図るための支援の充実
- ・コロナの影響を踏まえた地域活動への支援  
(主な取り組み)

## ▽多様な主体のつながりによる地域づくりの推進

### ■現状や課題

- ・ 少子高齢化や地域コミュニティの希薄化等により地域づくりに取り組めていない地域がある一方、世代を超えた多くの住民や団体が主体的に地域に参加し、地域課題解決に向けた取り組みを工夫しながら積極的に進めている地域があるなど、地域差が広がっている。
- ・ 地域住民をはじめとする多様な主体がそれぞれの役割を活かして連携・協働しながら、地域の課題解決に向け、一緒に考え行動していく必要がある。
- ・ 団体間をつなぐコーディネーターが必要。

### ■方向性

- ・ まちづくりに関する分野と一体となった取り組みの推進
- ・ CSW や生活支援コーディネーター等による、地域課題解決に向けた住民主体の活動のサポートやネットワークづくりを推進  
(主な取り組み)

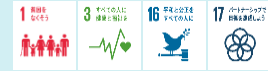
## ▽災害に備える地域づくり

### ■現状や課題

- ・ 災害時の支援体制づくりの取り組みが進んでいない地域の状況把握や普及啓発が必要。
- ・ 平常時における取り組みが災害時に活かされることを意識することが必要。
- ・ 災害ボランティアや専門ボランティア、地域防災リーダーや自主防災組織等の担い手育成が必要。

### ■方向性

- ・ 災害時要援護者への支援体制づくりや円滑な避難所運営の確保、防災・減災の取り組みへの支援を推進  
(主な取り組み)



<考え方>

- ・個人や世帯の抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な相談支援体制の構築が必要。
- ・深刻化する課題への対応力を高めるためには、地域住民や相談機関、医療機関、福祉関係者など各支援主体がつながり、連携を強化しながらそれぞれの支援力を高め、さらに支援の“輪”を広げながら支援機能全体を高めていくことが必要。
- ・本人を中心として寄り添う意識を持ち、専門職による具体的な支援と地域住民等による緩やかな見守り活動等の両方の支援を充実させていく必要がある。

<施策の方向>

▽日頃の見守り活動の促進

■現状や課題

- ・早期の課題把握が必要。
- ・地域の民生委員や町内会などが一緒に支援することが必要。
- ・専門職だけで全ての方を支援することはできないため、地域の力が必要。

■方向性

- ・地域住民や団体、企業等、地域の様々な主体による見守り活動を通じた予防的支援の充実（主な取り組み）

▽身近な相談機能の充実

■現状や課題

- ・身近な地域でどんな相談でも受け止める場が必要。
- ・支援につながりにくい人を把握し、支援する仕組みが必要。

■方向性

- ・各専門相談機関等における総合的な相談支援機能の充実
- ・アウトリーチ支援の推進（主な取り組み）

▽複合的な課題にチームで対応するための仕組みづくり

■現状や課題

- ・対応するケースが複雑化、複合化。複合的な課題を抱えているケースは地域とのつながりが薄い世帯が多い。支援に拒否的な場合もある。

- ・個人情報の取り扱いが難しい。支援のために共有が望ましい個人情報を、共有可能にする仕組みが必要。
- ・支援の切れ目がないように、支援関係機関をつなぐ役割が必要。
- ・福祉の分野ごとの縦割りを超えた連携を進めていくため、他の相談機関や制度を学ぶ機会、他の相談機関へのつなぎ方、分野横断の取り組みを推進する組織のあり方などを検討する必要がある。

#### ■方向性

- ・多職種・多機関による支援ネットワークの充実
- ・多機関の協働による包括的な相談支援体制のあり方  
(主な取り組み)

### ▽多様化するニーズに対応する福祉サービスの充実

#### ■現状や課題

- ・新たな課題に既存の取り組みをうまく活かすことが必要。
- ・どこに相談していいかわからない、相談先がわからないという市民の声。
- ・社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」を推進する必要がある。

#### ■方向性

- ・福祉サービスに関する情報提供の充実
- ・専門人材の育成
- ・安心して利用できる福祉サービス基盤の整備  
(主な取り組み)

■現状と課題

▽制度の概要

▽仙台市の体制

- ・ 仙台市成年後見サポート推進協議会
- ・ 仙台市成年後見総合センター
- ・ 地域包括支援センター、障害者相談支援事業所
- ・ 専門職団体相談窓口
- ・ 区役所（市長申立）

▽市民後見人の活用

- ・ 養成研修の実施と受任状況
- ・ 活動支援

■方向性

▽意思決定支援、権利擁護支援の体制づくりの推進

- ・ 意思決定支援の充実、権利擁護支援体制の構築

▽地域連携ネットワークの構築、中核機関の整備

- ・ 制度利用の前段階から後見等開始後の支援の仕組みづくり

▽市民後見人が活躍できる環境づくり

- ・ 受任機会の拡大と活動支援の充実

（資料）

- ・ 認知症高齢者、療育手帳所持者、精神障害者福祉手帳所持者データ
- ・ 市内の制度利用者数、市長申立数、市民後見人等データ



## 第6章 再犯防止推進 ～立ち直ろうとする人を支える

### ■現状と課題

- ・ 刑事司法制度、更生保護の概要
- ・ 仙台市における関係機関、団体
- ・ 支援の現状

### ■方向性

#### ▽支援へのつなぎと、息の長い支援のための連携促進

- ・ 関係機関団体の連携（情報共有、相談連絡体制）
- ・ 相談窓口の周知

#### ▽立ち直り支援への理解と協力を広げる

- ・ 啓発活動の充実
- ・ 更生支援活動の周知
- ・ 依存症理解、障害理解の促進

#### ▽地域での立ち直りを支える取り組みの推進

- ・ 居住支援、就労支援、修学支援
- ・ 福祉サービスの利用
- ・ 居場所づくり
- ・ 見守り

#### ▽被害者支援、地域の安全安心の推進

- ・ 犯罪被害者支援の推進
- ・ 安全安心のまちづくりの推進

#### （資料）

- ・ 犯罪統計、再犯率等データ
- ・ 法、国計画